

# 「結婚・子育てに対する県民の希望と幸福度調査」

## 《結果概要》

### I 調査概要

#### 1 調査目的

令和7年度からスタートする「福島県こどもまんなかプラン」を策定するにあたり、結婚・子育てに関する県民のニーズを把握するとともに、結婚生活や子育てにおける県民の幸福度・生活満足度を調査して、当該計画の施策に反映させる。

#### 2 調査対象者

県内7方部における20～49歳の男女（計20,000人）

#### 3 回答状況

有効回答数：5,298件（有効回答率：26.5%）

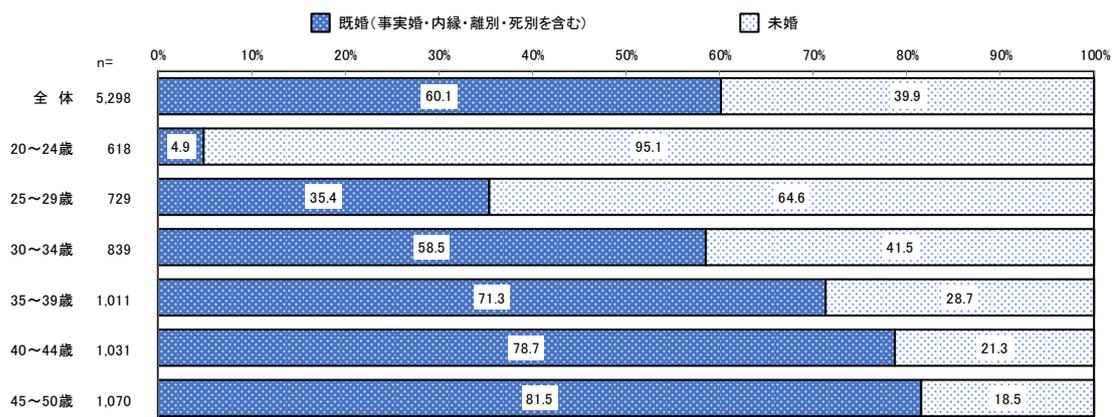
### II 調査結果（主要結果抜粋）

#### 1 【共通】あなたの性別についてお答えください。

「男性」が38.7%、「女性」が59.9%、「答えたくない」が1.4%となった。

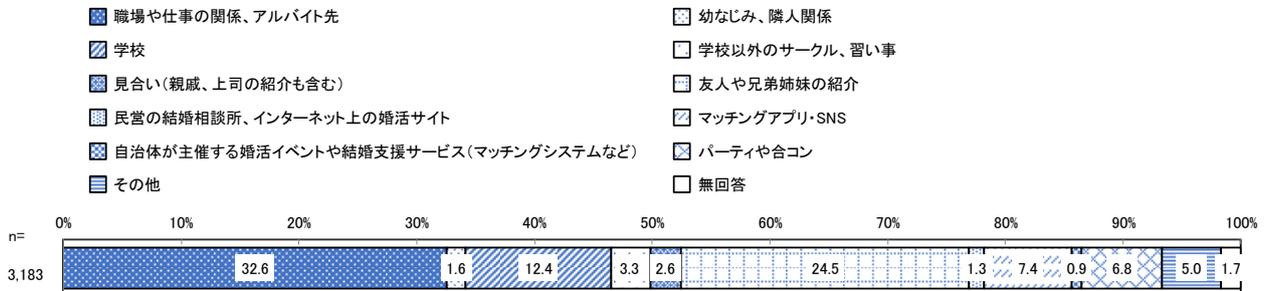
#### 2 【共通】あなたは、現在、結婚（事実婚・内縁含む）していますか。

「既婚（事実婚・内縁・離別・死別を含む）」が60.1%、「未婚」が39.9%となった。年齢別でみると、30歳以上では「既婚（事実婚・内縁・離別・死別を含む）」が5割を超えている。一方、《25～29歳》では3割半ば、《20～24歳》では1割を下回っている。



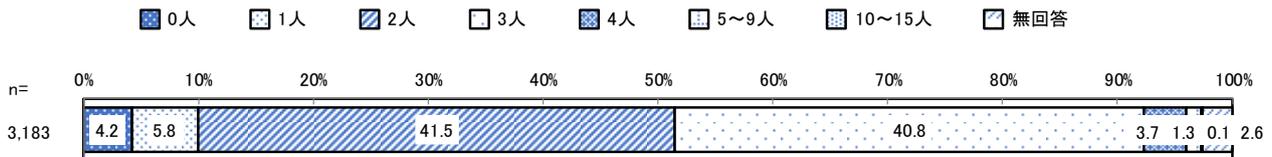
3 【既婚者対象】あなた方ご夫婦・カップルはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。

「職場や仕事の関係、アルバイト先」が32.6%で最も高く、次いで「友人や兄弟姉妹の紹介」が24.5%、「学校」が12.4%となった。



4 【既婚者対象】あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか。

「2人」が41.5%で最も高く、次いで「3人」が40.8%、「1人」が5.8%となった。



〈平均値・中央値〉

平均値	2.40人
中央値	2人

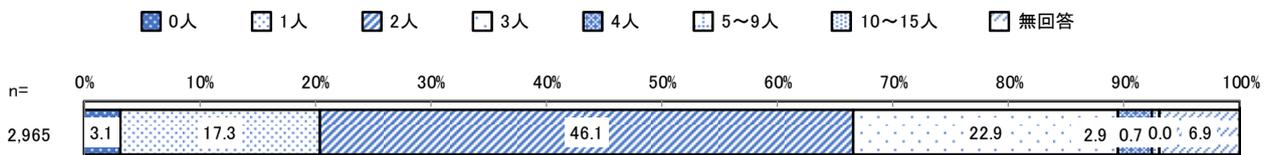
【参考】 前回調査 (令和元年度「少子化・子育てに関する県民意識調査」)との比較

平均値	2.60人
-----	-------

※回答者の年齢構成及び男女比等が異なる点に留意。

5 【既婚者対象】実際には何人の子ども (現在の子どもを含めて) を持つ予定ですか。

「2人」が46.1%で最も高く、次いで「3人」が22.9%、「1人」が17.3%となった。



〈平均値・中央値〉

平均値	2.09人
中央値	2人

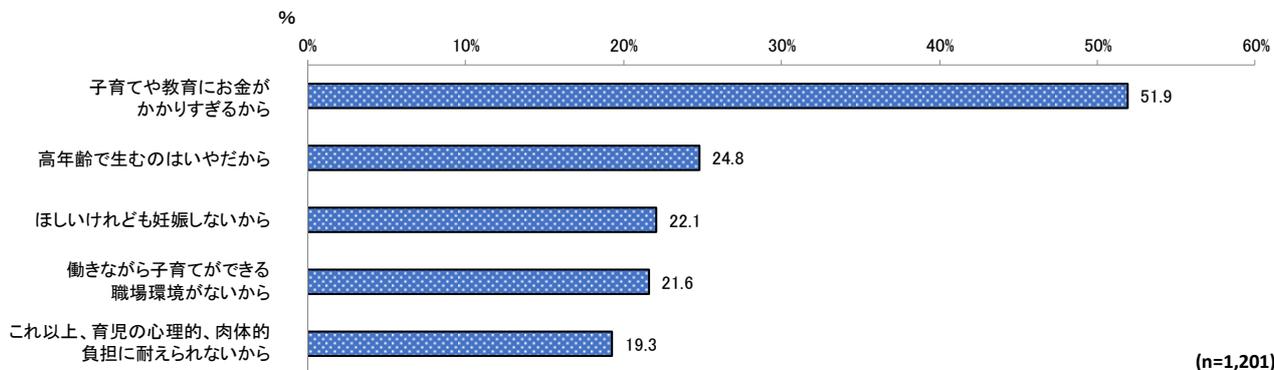
【参考】 前回調査 (令和元年度「少子化・子育てに関する県民意識調査」)との比較

平均値	2.27人
-----	-------

※回答者の年齢構成及び男女比等が異なる点に留意。

6 【既婚者対象】子どもを持ちたくない理由は何ですか。または、持つ予定の子どもの数が理想的な子どもの数よりも少ないのはどうしてですか。(複数回答)

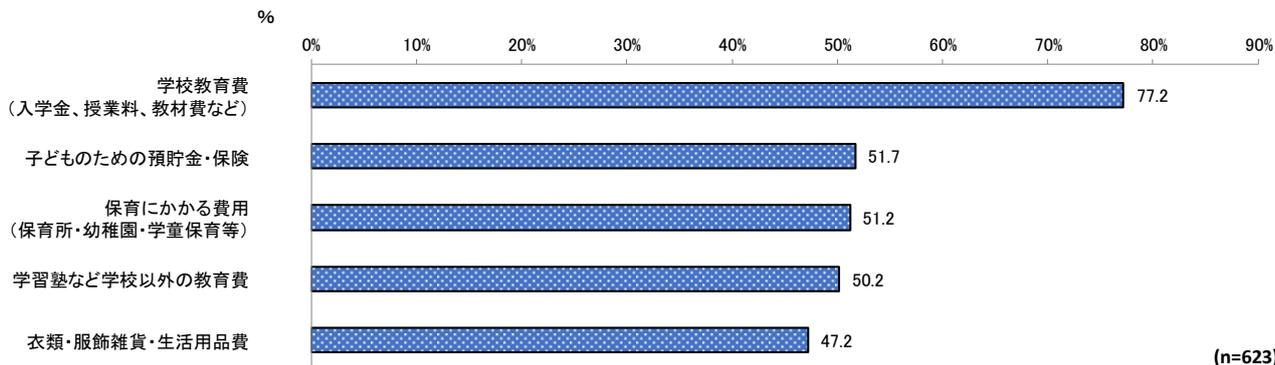
「子育てや教育にお金がかかりすぎるから」が51.9%で最も高く、次いで「高年齢で生むのはいやだから」が24.8%、「ほしいけれども妊娠しないから」が22.1%となった。



※ 上位5位のみ掲載

7 【既婚者対象】子育てや教育にかかる経済的な負担として大きなものは何ですか。(複数回答)

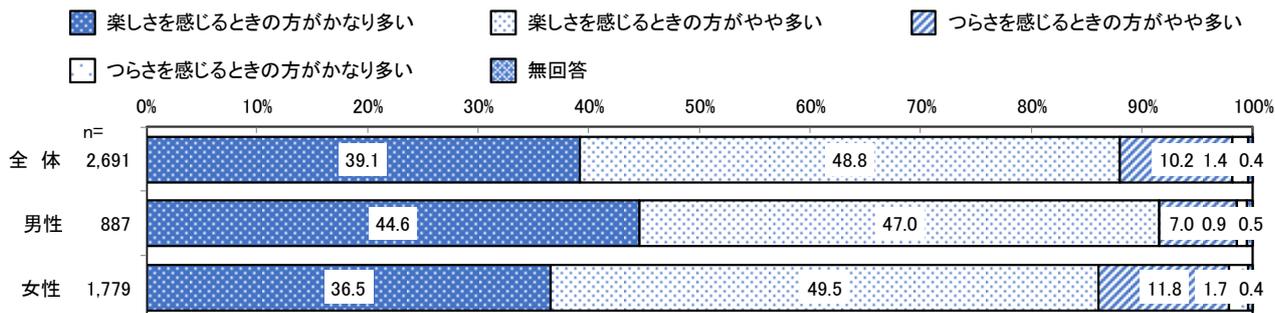
「学校教育費（入学金、授業料、教材費など）」が77.2%で最も高く、次いで「子どものための預貯金・保険」が51.7%、「保育にかかる費用（保育所・幼稚園・学童保育等）」が51.2%となった。



※ 上位5位のみ掲載

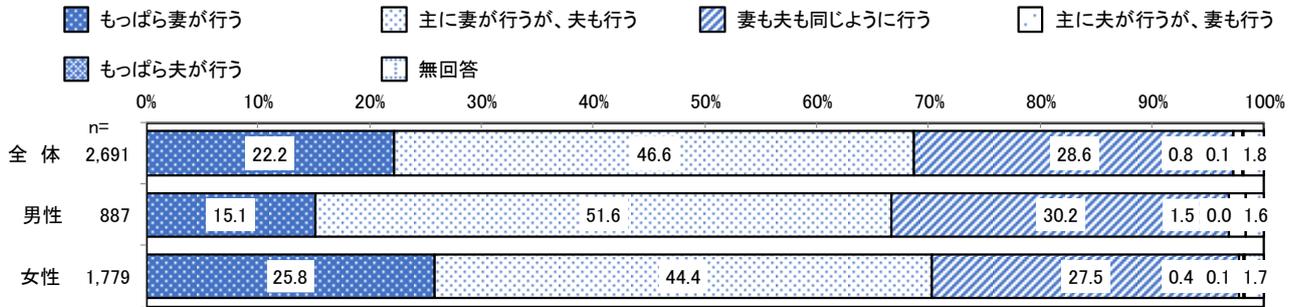
8 【既婚者対象】あなたは、子育てに楽しさを感じる 때가 多いですか、それとも つらさを感じる 때가 多いですか。

男女いずれにおいても「楽しさを感じる時の方がやや多い」が4割を超え最も高くなっている。



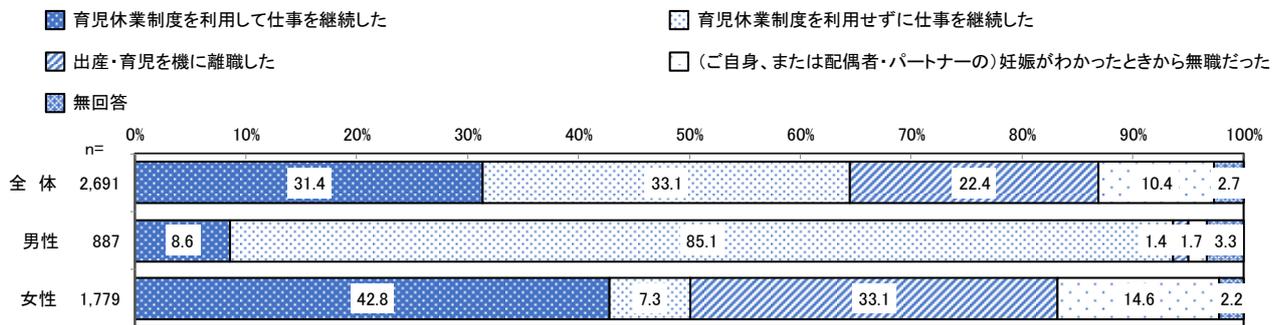
9 【既婚者対象】小学校入学前の子どもの育児における夫・妻の役割について、あなたの考えに近いものをお答えください。

男女ともに「主に妻が行うが、夫も行う」が4割を超え最も高い。《女性》では「もっぱら妻が行う」が2割半ばで、《男性》に比べ高くなっている。



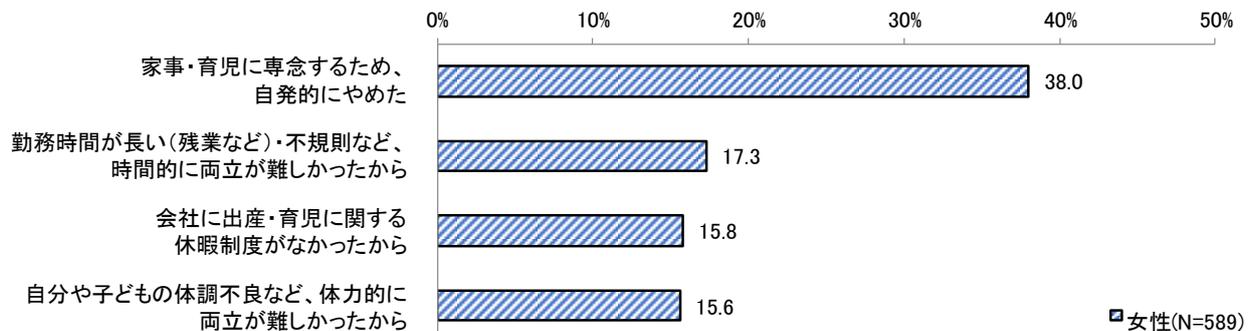
10 【既婚者対象】長子が生まれた時のあなたのおつとめの継続状況についてお答えください。

性別で見ると、《男性》では「育児休業制度を利用せずに仕事を継続した」が8割半ば、《女性》では「育児休業制度を利用して仕事を継続した」が4割強で、それぞれ最も高い。これに次いで、《女性》では「出産・育児を機に離職した」が3割強となっている。



11 【既婚者・女性のみ】「出産・育児を機に離職した」理由は何ですか。(複数回答)

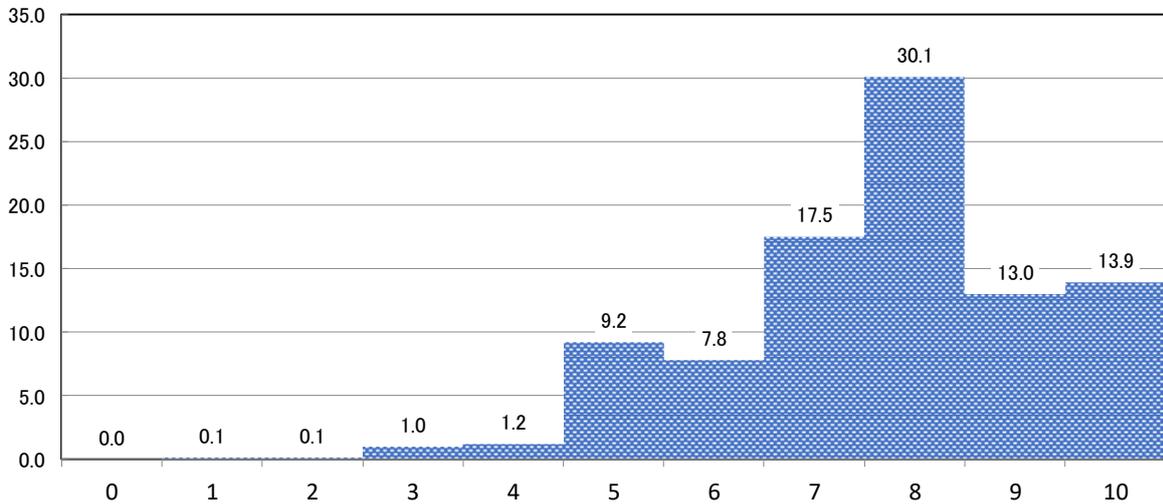
「家事・育児に専念するため、自発的にやめた」が38.0%で最も高く、次いで「勤務時間が長い(残業など)・不規則など、時間的に両立が難しかったから」が17.3%となった。



※ 上位4位のみ掲載

1 2 【既婚者対象】あなたのお子さんはどれくらい幸せだと思いますか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると何点くらいになると思いますか。

「8」が30.1%で最も高く、次いで「7」が17.5%、「10」が13.9%となった。



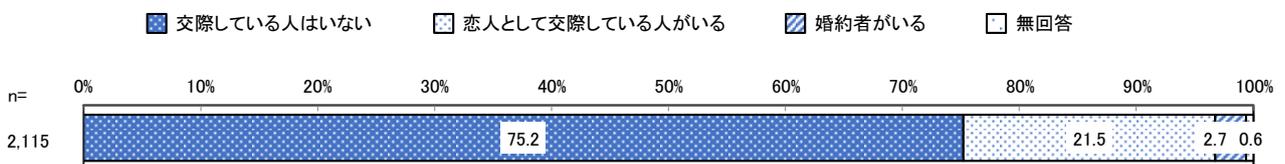
〈平均値・中央値〉

平均値	7.7 点
中央値	8 点

1 3 【未婚者対象】あなたは①交際している方（恋人として交際）がいますか。また、②交際の希望、③交際相手との結婚希望について回答してください。

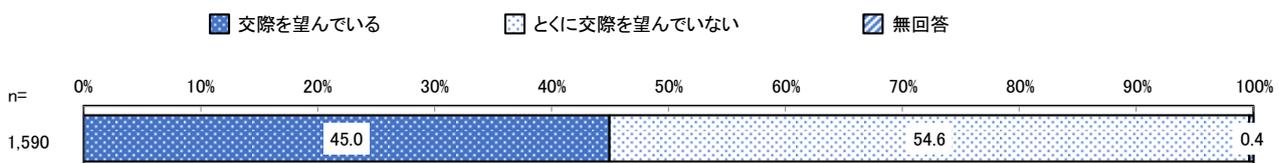
①異性との交際状況

「交際している人はいない」が75.2%で最も高く、次いで「恋人として交際している人がいる」が21.5%、「婚約者がいる」が2.7%となった。



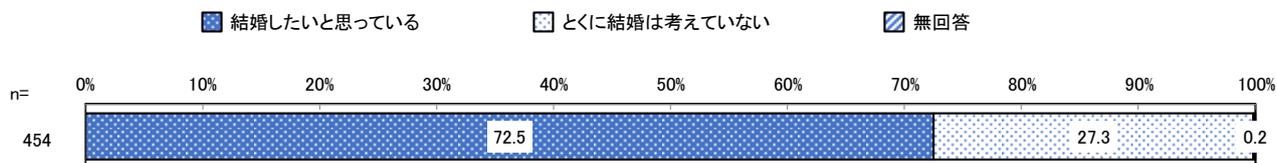
②交際の希望

交際の希望について、全体でみると「とくに交際を望んでいない」が54.6%、「交際を望んでいる」が45.0%となった。



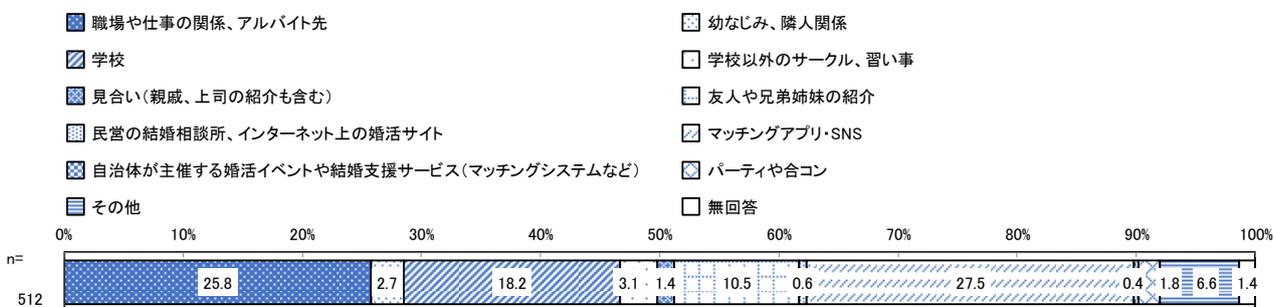
### ③交際相手との結婚希望

交際相手との結婚希望について、「結婚したいと思っている」が72.5%、「とくに結婚は考えていない」が27.3%となった。



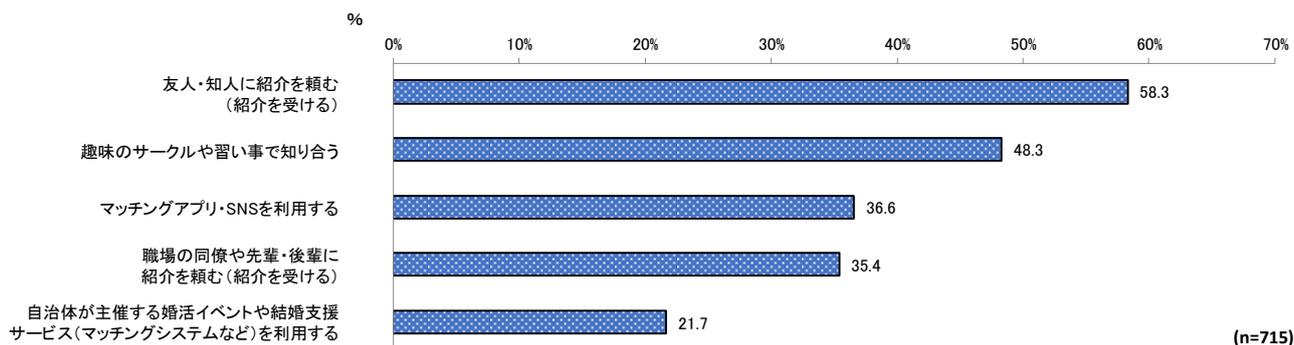
### 14 【未婚者対象】交際相手とはどのようなきっかけでお知り合いになりましたか。

「マッチングアプリ・SNS」が27.5%で最も高く、次いで「職場や仕事の関係、アルバイト先」が25.8%、「学校」が18.2%となった。



### 15 【未婚者対象】交際相手との出会いを求めるとしたら、どのような機会があると良いですか。(複数回答)

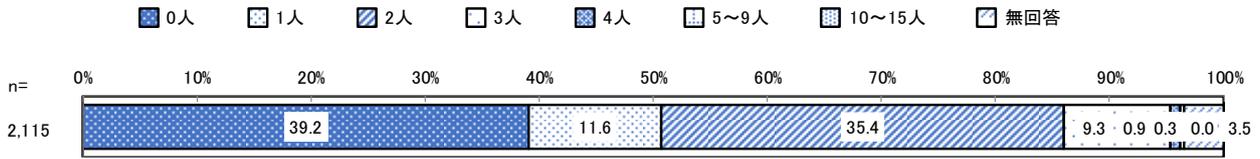
「友人・知人に紹介を頼む(紹介を受ける)」が58.3%で最も高く、次いで「趣味のサークルや習い事で知り合う」が48.3%、「マッチングアプリ・SNSを利用する」が36.6%となった。



※ 上位5位のみ掲載

16 【未婚者対象】あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。

「0人」が39.2%で最も高く、次いで「2人」が35.4%、「1人」が11.6%となった。



〈平均値・中央値〉

平均値	1.19人
中央値	1人

【参考】前回調査（令和元年度「少子化・子育てに関する県民意識調査」）との比較

平均値	1.84人
-----	-------

※回答者の年齢構成及び男女比等が異なる点に留意。

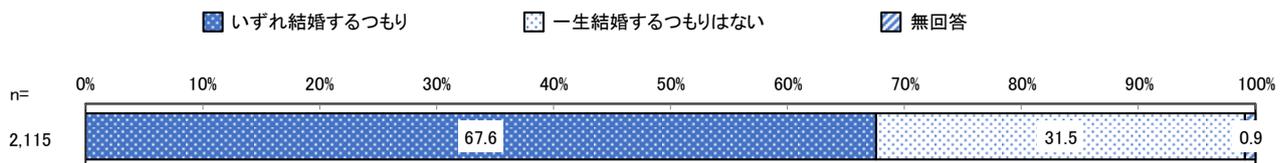
【参考：理想の子どもの数（既婚者+未婚者）】

4 「【既婚者対象】あなたにとって、理想的な子どもの数は何人ですか」と16 「【未婚者対象】あなたは、子どもは何人くらいほしいですか。」を合わせた理想の子どもの人数。

平均値	1.92人
中央値	2人

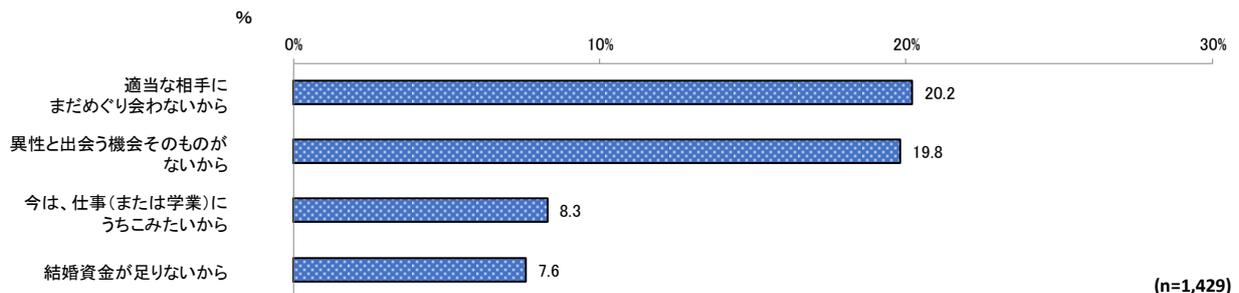
17 【未婚者対象】自分の一生を通じて考えた場合、あなたの結婚に対するお考えをお答えください。

「いずれ結婚するつもり」が67.6%、「一生結婚するつもりはない」が31.5%となった。



18 【未婚者対象】あなたが現在独身でいる理由をお答えください。

「適当な相手にまだめぐり会わないから」が20.2%で最も高く、次いで「異性と出会う機会そのものがないから」が19.8%、「今は、仕事（または学業）にうちこみたいから」が8.3%となった。

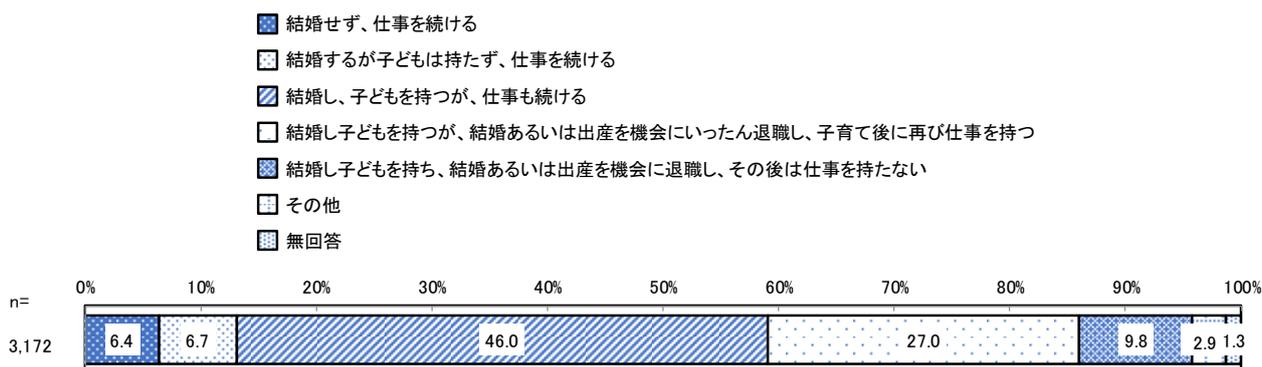


※ 上位4位のみ掲載

19 【共通】女性の生き方のタイプについて、最も近いと思われるタイプを回答してください。  
 【女性の方へ】あなたの理想とする人生はどのタイプですか。  
 【男性の方へ】妻、または妻となる女性にはどのようなタイプの人生を送ってほしいと思いますか。

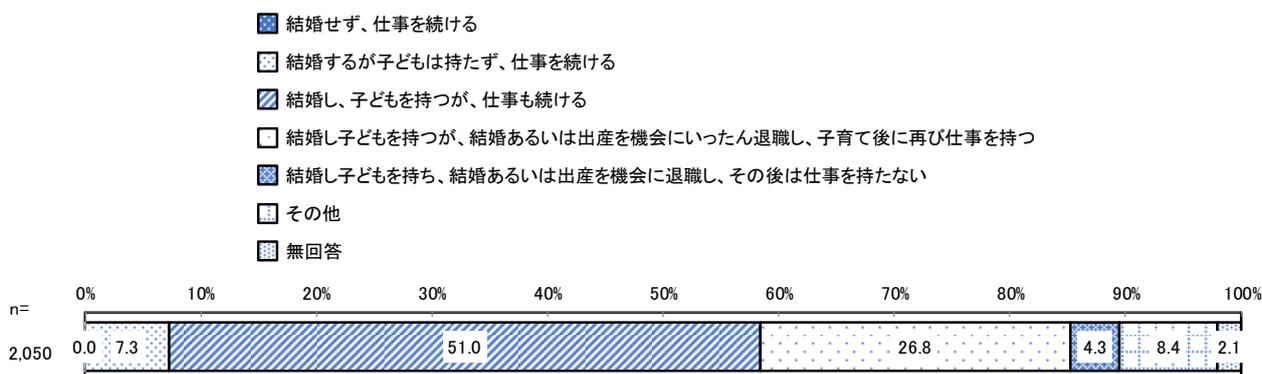
【女性回答】理想とする人生

「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が46.0%で最も高く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が27.0%、「結婚し子どもを持ち、結婚あるいは出産を機会に退職し、その後は仕事を持たない」が9.8%となった。



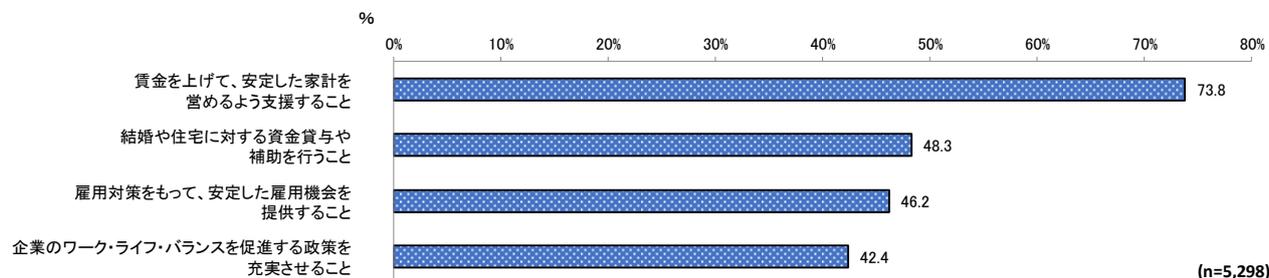
【男性回答】妻または妻となる女性に望む人生

「結婚し、子どもを持つが、仕事も続ける」が51.0%で最も高く、次いで「結婚し子どもを持つが、結婚あるいは出産を機会にいったん退職し、子育て後に再び仕事を持つ」が26.8%、「結婚するが子どもを持たず、仕事を続ける」が7.3%となった。



## 20 【共通】結婚を希望する人を支援する施策として何が重要だと思いますか。(複数回答)

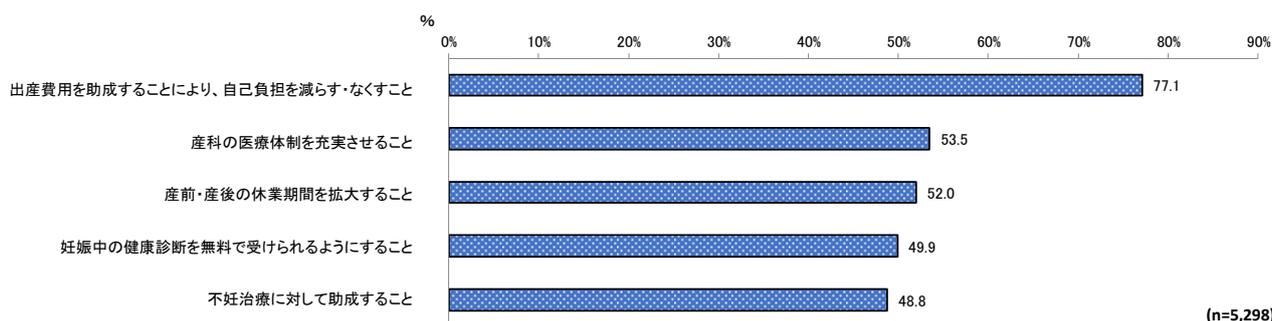
「賃金を上げて、安定した家計を営めるよう支援すること」が73.8%で最も高く、次いで「結婚や住宅に対する資金貸与や補助を行うこと」が48.3%、「雇用対策をもって、安定した雇用機会を提供すること」が46.2%となった。



※ 上位4位のみ掲載

## 21 【共通】妊娠・出産時の身体的・精神的・経済的負担を軽減する施策として何が重要だと思いますか。(複数回答)

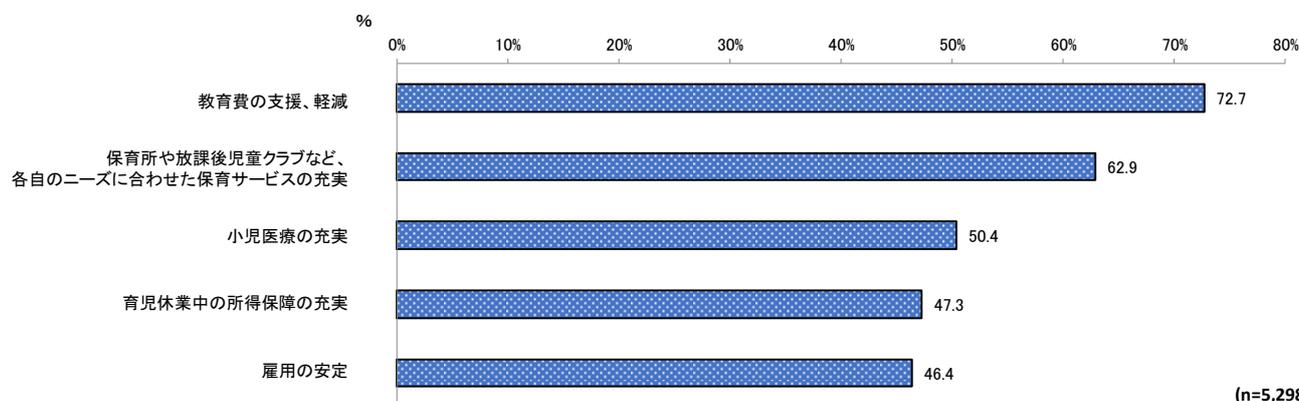
「出産費用を助成することにより、自己負担を減らす・なくすこと」が77.1%で最も高く、次いで「産科の医療体制を充実させること」が53.5%、「産前・産後の休業期間を拡大すること」が52.0%となった。



※ 上位5位のみ掲載

## 22 【共通】育児を支援する施策として何が重要だと思いますか。(複数回答)

「教育費の支援、軽減」が72.7%で最も高く、次いで「保育所や放課後児童クラブなど、各自のニーズに合わせた保育サービスの充実」が62.9%、「小児医療の充実」が50.4%となった。

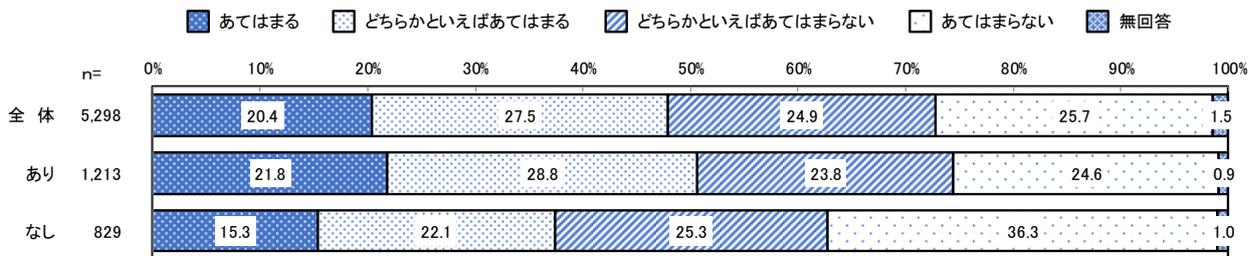


※ 上位5位のみ掲載

23 【共通】あなたの身近な状況（既婚の方は結婚前までの状況）について、どれくらいあてはまるかお答えください。

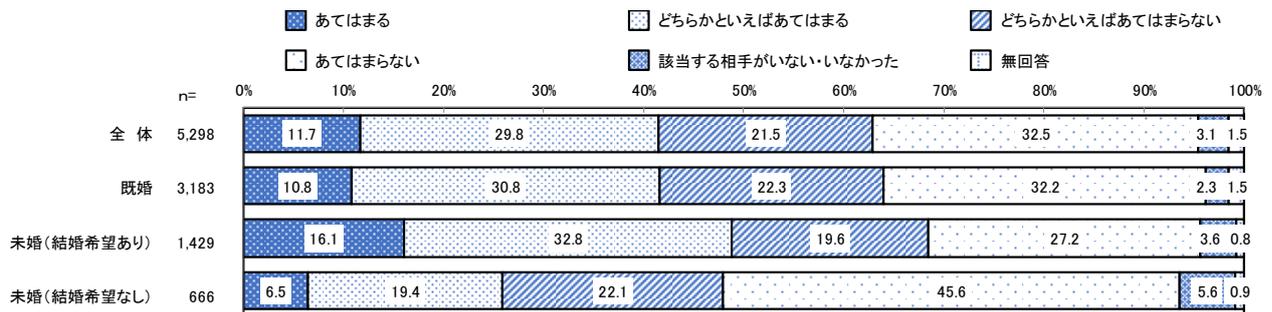
①赤ちゃんや小さい子どもとふれあう機会がよくあった

子どもの希望の有無別にみると、『あてはまる』（「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の合計）は《子どもの希望あり》では5割強、《子どもの希望なし》では4割近くとなり、10ポイント以上の差がみられた。



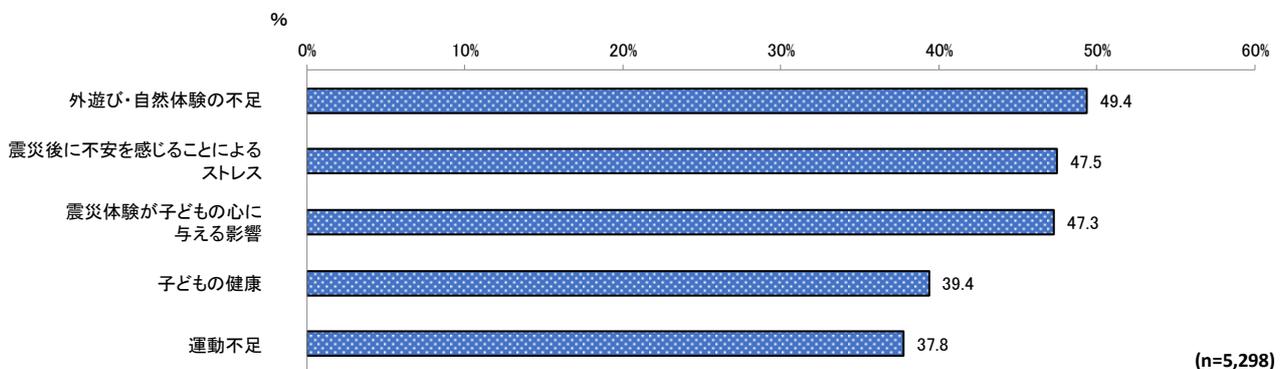
②両親のような夫婦関係をうらやましく思う・思っていた

既婚/未婚（結婚希望あり/なし）の別にみると、『あてはまらない』（「あてはまらない」「どちらかといえばあてはまらない」の合計）は《既婚》で5割半ば、《未婚（結婚希望あり）》で4割半ばであったのに対し、《未婚（結婚希望なし）》では7割近くと10ポイント以上の差がみられる。



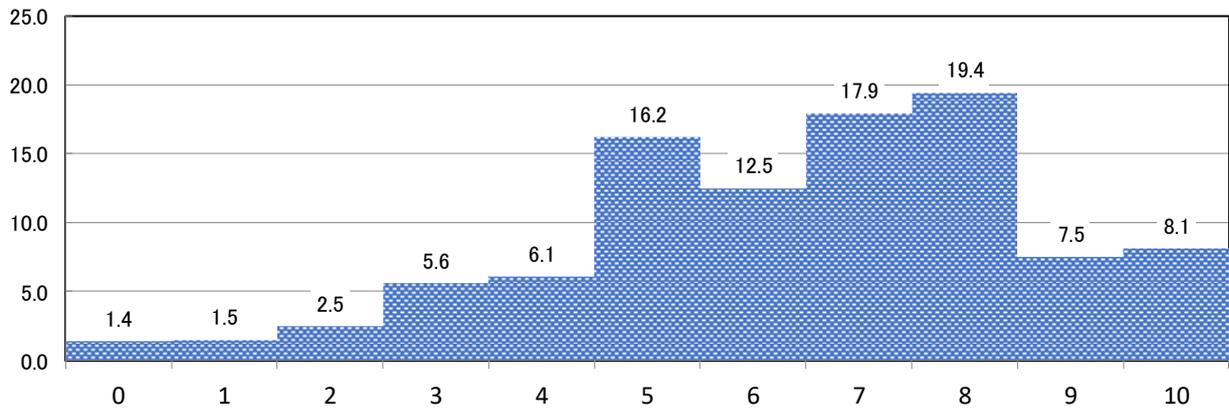
24 【共通】震災による子どもへの影響として、心配なことがありますか。（複数回答）

「外遊び・自然体験の不足」が49.4%で最も高く、次いで「震災後に不安を感じることによるストレス」が47.5%、「震災体験が子どもの心に与える影響」が47.3%となった。



25 【共通】現在、あなたはどの程度幸せですか。「とても幸せ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

現在、あなたはどの程度幸せかについて、「8」が19.4%で最も高く、次いで「7」が17.9%、「5」が16.2%となった。

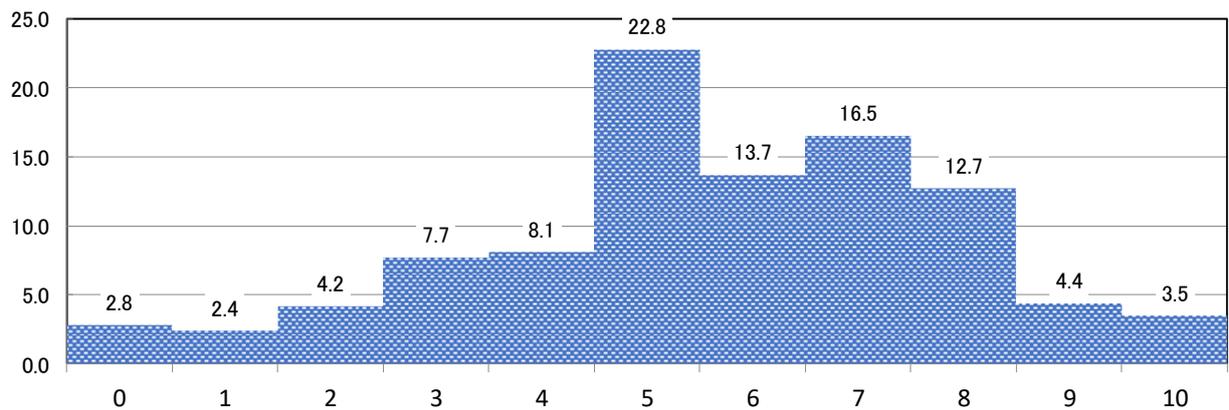


〈平均値・中央値〉

平均値	6.4点
中央値	7点

26 【共通】現在、あなたは、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足していますか。「とても満足」を10点、「とても不満足」を0点とすると、何点くらいになると思いますか。

現在、あなたの住んでいる地域の暮らしにどの程度満足しているかについて、「5」が22.8%で最も高く、次いで「7」が16.5%、「6」が13.7%となった。



〈平均値・中央値〉

平均値	5.6点
中央値	6点